

基礎看護学（健康科学領域）

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	3 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	1 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	5 人	

2 教員の異動状況

- 渡邊 泰秀（教授）（H14.6.1~現職）
 三浦 克敏（教授）（H18.4.1~現職）
 永田 年（教授）（H18.4.1~現職）
 山下 寛奈（助教）（H17.10.1~19.3.31 助手；19.4.1~現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	9.30	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	1 編	
そのインパクトファクターの合計	5.48	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Miura K, Yamamoto S: Histological imaging of gastric tumors by scanning acoustic microscope. British Journal of Applied Science & Technology. 4:1-17, 2014.

2. Miura K, Mineta H: Histological evaluation of thyroid lesions using a scanning acoustic microscope. *Pathology and Laboratory Medicine International*. 6:1-9, 2014.

インパクトファクターの小計 [0.00]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Nakamura Y, Miura K, Yasumizu R, Sato M, Suda T: Dendriiform pulmonary ossification visualised by scanning acoustic microscope. *Thorax*. 70(5):512-3, 2015 (8.56).
2. Nasu H, Miura K, Baba M, Nagata M, Yoshida M, Ogura H, Takehara Y, Sakahara H. Breast cancer metastatic to the kidney with renal vein involvement. *Jpn J Radiol*. 33(2):107-11, 2015 (0.74).

インパクトファクターの小計 [9.30]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Miura K, Tsuchida T, Yamamoto S: A Scanning Acoustic Microscope - A Novel Tool for Cytological Discrimination. *FASEB J* 29: LB459, 2015 (5.48).

インパクトファクターの小計 [5.48]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-2) レター

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Seto, S., Nagata, T., Horii, T., Koide, Y.: Molecular dissection of *Mycobacterium tuberculosis*-containing phagosomes. *Nihon Saikingaku Zasshi*, 69 (3): 513-525, 2014.

インパクトファクターの小計 [0.00]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 永田 年: 食物アレルギーを予防する機能. 西村敏英・浦野哲盟(編), 食品の保健機能と生理学 (pp. 139-153).

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の

共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(200 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件	(40 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

三浦克敏 (代表者) 基盤研究 (C)、超音波顕微鏡画像の感度と特異性を向上させる方法の開発、平成24年度~平成26年度、平成26年度：70万円 (継続)

永田 年 (代表者) 基盤研究 (C)、インフルエンザ菌の気道上皮細胞内寄生と細胞傷害性T細胞応答の解析、平成26年度~平成28年度、平成26年度：130万円 (新規)

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

三浦克敏 (代表者) 独立行政法人 科学技術振興機構

ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI 感じてみよう体のふしぎ 平成 26 年度 40 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	4 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演 (
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. 三浦克敏: Detecting chemical modification on tissues by scanning acoustic microscopy, 26th ヨーロッパ病理学会総会, 8/30-9/3, London (UK).
2. 三浦克敏: A scanning acoustic microscope-A novel tool for cytological discrimination, EB2015, 3/28-4/1, Boston (USA).

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
三浦克敏: 超音波顕微鏡を用いる細胞診断 第5回バイオ超音波顕微鏡研究会招待講演、2014.11/29、豊橋
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

三浦克敏: 日本病理学会評議員、日本臨床細胞学会静岡県支部理事
渡邊泰秀: 日本薬理学会評議員、日本生理学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	3 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

三浦、Scientific Reports (英国)、Editorial Board
永田、Journal of Vaccine and Vaccination (米国)、Editorial Board
永田、World Journal of Immunology (中国)、Editorial Board

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

三浦、1 回、Cancer Science (日本)
永田、1 回、Microbiology and Immunology (日本)
永田、2 回、FEMS Microbiology Letters (英国)
永田、2 回、Journal of Vaccines and Vaccination (米国)

永田、2回、Results in Immunology (米国)

永田、1回、British Microbiology Research Journal (英国)

永田、9回、World Journal Series (中国)

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	2 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

キャノンとテラヘルツ波の顕微鏡観察応用について共同研究を行なっている。(三浦克敏)

(3) 学内共同研究

メディカルフォトンクス研究センター(イノベーション光医学研究室)、形成外科、病理部と超音波顕微鏡の臨床応用とテラヘルツ波の顕微鏡観察応用について共同研究を行なっている。

(三浦克敏)

感染症学講座(感染制御学分野)と「結核菌の細胞内寄生メカニズム」をテーマに共同研究をしている。(永田 年、菅谷圭子)

10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 超音波顕微鏡を用いた組織や細胞の観察で、英文論文を2編発表し、その他国際学会で2回発表をおこなった。(三浦)

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 超音波顕微鏡を用いて、組織内の化学修飾を評価する論文が Pathology International (病理学の英文誌)に受理され、電子版で公表された。(現在書面版の印刷準備中である)。(三浦)

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

1. 超音波顕微鏡を臨床診断に応用した研究は少なく、老化、創傷治癒、代謝障害の新たな研究手段として将来の発展性が期待されている。(三浦)

15 新聞、雑誌等による報道

1. 「ひらめきときめきサイエンス・プロジェクト」の高校生を対象とした実験講座は7月29日の中日新聞、7月31日の静岡新聞に掲載された。